

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

県では高齢者や子どもなど早期受診が必要な方への医療アクセスを優先するため、12月15日に「医療ひっ迫警戒宣言」を発出し、医療機関の適正受診を呼びかけているところです。重症化リスクが低く症状が軽い方は自己検査をし、陽性の場合は「愛媛県陽性者登録センター」をご利用ください。また、医療機関を受診する場合は、できる限り平日・日中の受診をお願いします。年末年始を迎え人の移動や接触が活発になることで、感染リスクの高まりが懸念されますので、暖房使用時も定期的な換気を習慣化するほか、普段と異なる症状がある場合は外出や出勤、登校等を控えましょう。忘年会や新年会、同窓会など、普段顔を合わせない方との会食は、長時間を避け、感染対策を守って実施しましょう。なお、県では県内各所で無料検査を実施しています。感染拡大防止のため、帰省時や会食前には積極的にご活用ください。『愛媛県庁ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』



発生動向の概況

インフルエンザの定点当たり報告数は、第49週0.1人、第50週0.1人と横ばいで推移しています。地域別にみるとこれまでに報告があった四国中央保健所、西条保健所、今治保健所に加え、松山市保健所でも報告がありました。迅速検査の結果では、今シーズンにウイルス型別が判明した症例のうち93.3%をA型が占めています。全国的にみると流行開始の目安となる定点当たり1.0人を超えた県もあるため、今後の動向に注意するとともに、ワクチン接種、咳エチケットや液体せっけんとう流水での手洗い等の感染対策を励行しましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第49週4.9人から第50週4.2人と横ばいで推移しています。地域別にみると県内全域で散発しており、四国中央保健所、宇和島保健所では増加しています。これから年明けにかけてウイルス性の感染性胃腸炎が増加する傾向がありますので、調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんとう流水で十分に手を洗いましょう。患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン(エプロン)、手袋、マスクを着用し、嘔吐物等が付着した環境(床、ドアノブ、リネン類など)は次亜塩素酸ナトリウム(塩素系の漂白剤)で消毒しましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症 医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

- 二類感染症：結核 5例
- 四類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1例(70歳代男性) レジオネラ症 2例(80歳代男性2例)
- 五類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例(80歳代男性、90歳代男性)
梅毒 3例(30歳代男性2例、50歳代男性 2022年県内累計113例)
播種性クリプトコックス症 1例(80歳代男性) 百日咳 1例(30歳代女性)
- 新型コロナウイルス感染症 3,879例

*その他、梅毒の届出が第48週に2例、新型コロナウイルス感染症の届出が第2週から第47週に103例ありました。

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	→ 0.1	横ばい。四国中央、西条、今治、松山市保健所でごく少数発生。
RSウイルス感染症	↓ 0.5	減少。今治保健所を除く全域で発生がみられる。西条保健所で多い。
感染性胃腸炎	→ 4.2	横ばい。県内全域で散発。四国中央、宇和島保健所では増加。

解析評価委員のコメントから

- インフルエンザ：[東予]西条市で数人あるようですが、流行っていません。
[中予]B型1例の報告がありました。 [南予]報告はありません。
- RSウイルス感染症：[東予]減少してきました。 [中予]あまり流行っていません。
[南予]少数発生が持続しています。
- 感染性胃腸炎：[東予]多くはないですが、みられます。 [中予]やや減少しています。
[南予]多数発生が持続しています。

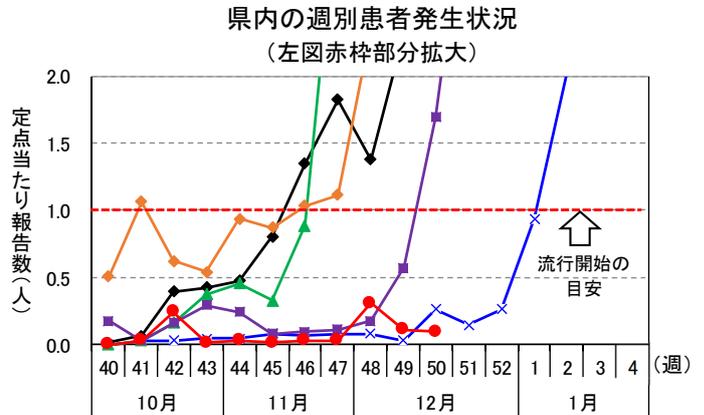
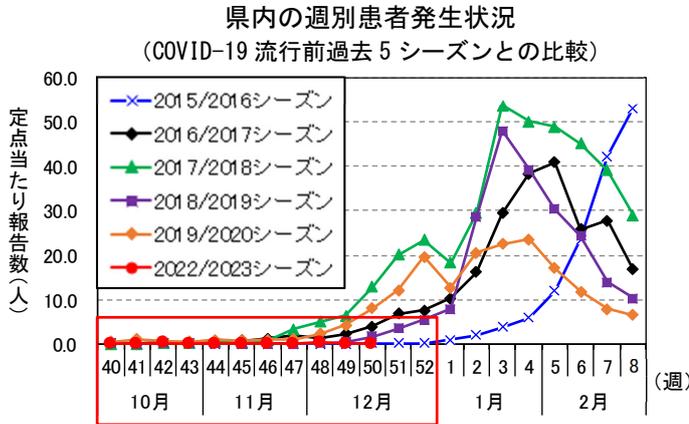
過去30週の動向 (○：過去30週の動向、—：過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

- 愛媛県におけるインフルエンザの流行状況 - 令和4年12月21日現在

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行前5シーズンにおけるインフルエンザの定点当たり報告数は、2015/2016シーズンを除き11月下旬から12月上旬に増加し始め、翌年の1月に急増しピークを迎えました。COVID-19流行以降、2020/2021シーズン、2021/2022シーズンともにインフルエンザの流行はありませんが、2022/2023シーズンは10月中旬(第41週)からインフルエンザの少数発生が続いており、3シーズンぶりの流行が懸念されます。今冬はCOVID-19との同時流行の恐れもあるため、ワクチン接種、咳エチケット、手洗いや定期的な換気といった感染対策を徹底しましょう。



病原体検出情報

令和4年12月20日現在

- 第47週に松山市で採取された手足口病患者検体からコクサッキーウイルス(CV) A6型が、第49週に松山市で採取された手足口病患者検体からCVA2型が検出されました。
- 愛媛県ではインフルエンザウイルスはまだ検出されていません。国立感染症研究所病原微生物検出情報によると、全国では19都道府県からAH3亜型が58例、AH1pdm09が2例、その他不明等が9例検出されています^{*1}。また、今年の夏にオーストラリアでインフルエンザの流行がみられ、型別されたインフルエンザウイルスの大部分が、インフルエンザウイルスA(H3N2)でした^{*2}。

^{*1} <https://kansens-levelmap.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data128j.pdf>

^{*2} Australian Influenza Surveillance Reports (AISR) (<https://www.health.gov.au/sites/default/files/2022-12/aisr-2022-national-influenza-season-summary.pdf>)

過去5週 検出病原体

(2022年11月14日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
47	11/21~11/27	松山市	手足口病	コクサッキーA6	咽頭ぬぐい液	1
49	12/5~12/11	松山市	手足口病	コクサッキーA2	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検体採取月		2022						合計
検出病原体		7	8	9	10	11	12	
ウイルス	コクサッキーA2						1	1
	コクサッキーA6	2	2		3	4		11
	アデノ37			1				1
ウイルス計		2	2	1	3	4	1	13
細菌	下痢原性大腸菌	1						1
細菌計		1						1

臨床診断別検出結果(2022年10月以降採取検体)

検出病原体	手	合
	足	計
コクサッキーA2	1	1
コクサッキーA6	7	7
ウイルス計	8	8

注) 表中の検出数は12月20日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第 50 週 (2022.12.12 ~ 12.18)

	インフルエンザ定点	小児科定点											眼科定点		基幹定点						患者報告数				
		1)		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)			4)		1)	
		インフルエンザ	迅速検査A型														迅速検査B型	ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎		インフルエンザ(入院)
保健所別	四国中央	1	1	1			22		3						-	-									四国中央
	西条	4				2	25		1		4					1									西条
	今治					2	2		6		3	1				1									今治
	松山市	1		1		14	65		9		4	2	1				-	-	-	-	-	-	-		松山市
	中予					3	4		4		3	2													中予
	八幡浜						10				2	2													八幡浜
	宇和島						27		1																宇和島
週推移	愛媛県	6	1	1	19	2	19	155	24		16	7	1		2										愛媛県
	1週前	7	2	1	32	1	19	181	8	36	1	12	9	2	2										1週前
	2週前	19	17	1	24		23	140	2	49		16	12		1	2									2週前
	3週前	2	2		9	2	15	116	3	75		10	7		4										3週前
年齢別	0-5ヶ月				6		1				1														0
	6-11ヶ月				5		5		1		5	1													1-4
	1				5	1	23		8		8	2													5-9
	2				2	1	14		8		2	1													10-14
	3						12		3																15-19
	4				1		13		3																20-24
	5						24		1																25-29
	6						15																		30-34
	7						9																		35-39
	8						4																		40-44
	9						5																		45-49
	10-14	1		1			10	18					1												50-54
	15-19	1	1				1																		55-59
	20-29 ⁵⁾	2						12																	60-64
	30-39															1									65-69
	40-49	2																							70-
	50-59																								
	60-69																								
	70-79 ⁶⁾															1									
	80-																								

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	.2	-	-	.3		7.3	1.0						-	-										四国中央
	西条	.4	-	-	2.0		4.2	.2		.7					1.0										西条
	今治		-	-		.4	4	1.2		.6	.2				1.0										今治
	松山市	.1	-	-			1.3	5.9	.8	.4	.2	.1													松山市
	中予		-	-	.5		.8	1.0	1.0	.8	.5														中予
	八幡浜		-	-	.5		2.5			.5	.5														八幡浜
	宇和島		-	-	.5		6.8	.3																	宇和島
	愛媛県	.1	-	-	.5	.1	.5	4.2	.6	.4	.2	.0			.3										愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 - 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 - 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 - 4) オウム病を除く。
 - 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 - 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
- *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は12月21日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第49週 (2022.12.5 ~ 12.11)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点												
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)					
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			インフルエンザ(入院)				
患者報告数																												
保健所別	四国中央	3	2		24		3	42		14		3	2				-	-									四国中央	
	西条	3																									西条	
	今治	1		1		1		1	4	9	1	4	1														今治	
	松山市				1		10	87	2	7		1	4	1		1	-	-	-	-	-	-	-	-			松山市	
	中予				3		6	9		5		2	2	1													中予	
週推移	八幡浜				4			14	2																			八幡浜
	宇和島							12																				宇和島
	愛媛県	7	2	1	32	1	19	181	8	36	1	12	9	2		2											愛媛県	
	1週前	19	17	1	24		23	140	2	49		16	12		1	2											1週前	
2週前	2	2		9	2	15	116	3	75		10	7			4											2週前		
3週前	2	2		18		29	161	2	95		18	11			6											3週前		
年齢別	0-5ヶ月				2			1																			0	
	6-11ヶ月							8		3		2	1														1-4	
	1				6		2	23	1	12		8	4														5-9	
	2				5	1		17	2	11	1	1		1													10-14	
	3				11			22	1	7			1														15-19	
	4				5		2	25	1			1	2														20-24	
	5				3		1	10		1																	25-29	
	6						4	12		2																	30-34	
	7	1	1				4	7	1						1												35-39	
	8							5	1																		40-44	
	9							4																			45-49	
	10-14	1	1				3	20	1				1														50-54	
	15-19	1		1			3	5								2											55-59	
	20-29 ⁵⁾	1						22																			60-64	
	30-39																										65-69	
	40-49	1																									70-	
50-59																												
60-69	1																											
70-79 ⁶⁾																												
80-	1																											

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	.6	-	-				5.3		.3																	四国中央	
	西条	.3	-	-	4.0		.5	7.0		2.3		.5	.3														西条	
	今治	.1	-	-		.2		.2	.8	1.8	.2	.8	.2														今治	
	松山市		-	-	.1		.9	7.9	.2	.6		.1	.4	.1		.3	-	-	-	-	-	-	-	-			松山市	
	中予		-	-	.8		1.5	2.3		1.3		.5	.5	.3													中予	
愛媛県	八幡浜		-	-	1.0			3.5	.5						1.0													八幡浜
	宇和島		-	-				3.0				.5																宇和島
愛媛県	.1	-	-	.9	.0	.5	4.9	.2	1.0	.0	.3	.2	.1		.3											愛媛県		

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 - 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 - 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 - 4) オウム病を除く。
 - 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 - 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
- *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は12月14日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2022年 第48、49週 (2022.11.28 ~ 12.11)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
愛媛県	.3	.6		.6	3.8	.1	1.3		.4	.3		.1	.3					
近畿県	香川県	.0	.9	.2	.0	2.7		.4	.4	.2	.0							
	徳島県		.4		.1	2.9		.6	.3									
	高知県	.0	.6	.1	.2	1.8	.2	1.0	.0	.3			.3					.1
48 週	全 国	.1	.5	.1	.4	3.8	.1	.4	.0	.2	.2	.0	.2	.0	.0	.0	.0	.0
週	北海道	.0	.5	.3	.4	1.0	.2	.1		.1	.1	.0		.1	.0			.1
	東北	.1	1.4	.2	.2	2.2	.1	.2	.0	.2	.0	.0		.2		.0	.0	.1
	関東	.2	.3	.1	.3	5.3	.1	.2	.0	.2	.0	.0	.0	.5	.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸	.0	1.0	.1	.3	4.4	.1	.3	.0	.2	.1	.0		.0	.0	.0		
	東海	.1	.3	.1	.3	3.2	.1	.2	.0	.2	.0	.0		.1		.1		
	近畿	.3	.2	.1	.4	2.9	.1	.7	.0	.2	.3	.0		.1	.0			
	中国四国	.1	.6	.1	.4	3.2	.1	.7	.0	.3	.2	.0	.0	.1		.0	.0	.0
九州沖縄	.1	.5	.2	.7	4.2	.1	.9	.0	.4	.7	.0		.3	.0	.0			

(12.7集計)

愛媛県	.1	.9	.0	.5	4.9	.2	1.0	.0	.3	.2	.1		.3					
近畿県	香川県	.1	.8	.1	.1	2.5	.1	.4		.3	.1	.0		.8				
	徳島県	.1	.5	.0	.1	4.1	.2	.4		.3								
	高知県	.1	.2		.5	1.5	.3	1.0		.4								
49 週	全 国	.3	.5	.1	.4	4.4	.1	.4	.0	.2	.2	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0
週	北海道	.1	.9	.3	.5	1.3	.1	.1		.1	.1	.0						
	東北	.3	1.3	.1	.3	2.6	.1	.1	.0	.2	.0	.0		.1	.0	.0	.0	
	関東	.3	.3	.1	.2	6.3	.1	.2	.0	.2	.1	.0	.0	.3	.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸	.1	1.3	.2	.4	4.1	.1	.2	.0	.2	.1	.0	.0	.1	.0	.0		
	東海	.1	.3	.1	.3	3.4	.1	.2	.0	.2	.0	.0		.2			.1	
	近畿	.4	.2	.1	.3	3.4	.1	.8	.0	.2	.3	.0	.0	.1	.0		.0	
	中国四国	.1	.5	.1	.3	3.5	.1	.6	.0	.2	.2	.0		.3	.0	.0		
九州沖縄	.2	.7	.3	.8	5.0	.2	.9	.0	.4	.7	.0		.4	.0	.0		.0	

(12.14集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

